２０１６年（平成２８年）７月２２日　金曜日

東奥日報新聞　１面　掲載

光星2年ぶりV

大湊 悲願かなわず

第98回 全国高校野球 青森大会

▽決勝

大湊	0	0	0	0	0	0	0	0	0
八学光星	1	0	8	1	0	0	0	1	×

大湊	0
八学光星	11

第98回全国高校野球選手権青森大会は最終日の21日、青森市営球場で決勝を行った。八戸学院光星が大湊を11―0で下し、2年ぶり8回目の優勝、春夏通じ17回目の甲子園出場を決めた。【詳報10、11面、関連記事24、25面】

八学光星は初回に先制すると、三回に連続押し出し四球や、伊藤優平の2点適時三塁打など打者一巡の猛攻で大量8点を挙げた。四回にも小林直輝の適時打で突き放した。八学光星の先発・主戦櫻井一樹は無失策の堅守にも支えられ、完封勝利を飾った。

大湊は4回戦で春の選抜出場の青森山田、準々決勝で八工大一、準決勝で聖愛という私学強豪を逆転で破って勝ち上がってきたが、悲願の「下北から甲子園」はかなわなかった。

全国高校野球選手権は8月7日から21日まで、兵庫県の阪神甲子園球場で行われる。組み合わせ抽選は同月4日。

（本紙取材班）

【大湊―八学光星】2年ぶり8回目の優勝を決め、喜びを爆発させる八学光星ナイン＝21日午後、青森市営球場

東奥日報社提供

この画像は当該ページに限って東奥日報社が利用を許諾したものです